

◎ 2時間目の授業

(1) 目標

社会調査のズレを分析し、改善案を考える。

(2) 展開

過程	学習活動	○ 指導・支援 ※ 評価
導入	<p>1 前時を振り返る。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px auto; width: fit-content;">めあて： 社会調査の「ズレ」を分析しよう。</div>	<p>○社会調査などの情報と向き合うための留意点を考えるために、社会調査における「ズレ」を理解することの大切さを確認する。</p>
展開	<p>3 社会調査で起こりがちな「ズレ」の原因を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「相関関係」と「因果関係」の違いを理解する。 <p>4 社会調査の定義を確認し、社会調査を行う際に必要な事柄を考える。(分析の視点をもつ)</p> <p>5 教科書の3つの例を分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分析の視点を基に、どのようにすれば「ズレ」を縮小できるか、その改善案を検討する。 <p>(1) 逆方向の因果関係 (2) 隠れた変数による因果関係 (3) 別の変数による因果関係</p>	<p>○教科書の図(p. 157)を用いて「相関関係」と「因果関係」の違いを説明する。</p> <p>○隣同士で「相関関係」と「因果関係」の違いをお互い説明させ、理解を確実なものにする。</p> <p>○社会調査を行う側に立って考えさせるようにする。 必要な事柄は、社会調査の分析の視点とする。 (分析の視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査の目的 ・調査の対象 ・調査の内容 <p>○改善案を考えさせることで、分析の視点のなかでも軸になる視点がどれかを理解させる。 →調査の目的</p> <p>○グループ内で、自分の考えを他の人に説明することで分析を明確にできるようにする。</p> <p>※ 分析の視点を基に、社会調査を分析している。 【ワークシート, 観察】</p>
終末	<p>6 次時の学習を見通す</p>	<p>○分析の結果を発表し合い、筆者の主張を読み取っていくことを告げる。</p>